科目名 (Eng)	経済学(Economics)								
担当教員	吉村 忠晴								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	一般科目(コミ科)	4	通年	必修	2	60	一般	B	

目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1). (A-3). (C-1). (C-4).
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1).
	JABEE基準1(1)との対応：(a). (d)-(2)-d). (h).
授業の概要と方針	経済学の基本となる理論、分析手法を学習する。具体的にはミクロ経済学の家計行動、企業行動、市場メカニズムを取り上げる。なお、今年度はマクロ経済学に関しては「経済学演習Ⅰ」で扱う。また、講義内容に関する演習を課し、理解を深める。
到達目標	①家計行動の理論を文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。 ②企業行動の理論を文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。 ③市場のメカニズムを文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	経済学の課題	資源配分問題と所得分配問題、経済循環	①新聞等で企業やビジネスの動向を把握する
	2	需要と供給 (1)	市場構造	
	3	需要と供給 (2)	需要関数と供給関数、市場均衡	
	4	需要と供給 (3)	需要曲線と供給曲線のシフト	
	5	需要と供給 (4)	問題演習	
	6	家計行動の理論 (1)	予算制約線、相対価格	
	7	家計行動の理論 (2)	効用関数、限界効用	②次回の授業までに前回分の授業ノートを整理する
	8	家計行動の理論 (3)	無差別曲線、限界代替率	
	9	家計行動の理論 (4)	最適消費量	
	10	家計行動の理論 (5)	需要関数の導出	
	11	家計行動の理論 (6)	問題演習	
	12	企業行動の理論 (1)	短期と長期、生産関数	③教科書で次回の授業の内容を確認する
	13	企業行動の理論 (2)	等産出量曲線、技術的限界代替率	
	14	企業行動の理論 (3)	等費用線、最適投入量、費用関数の導出	
	15	企業行動の理論 (4)	問題演習	
後期	16	企業行動の理論 (5)	費用の概念	
	17	企業行動の理論 (6)	収入関数、最適生産量	④単元ごとに課される練習プリントを完成させる
	18	企業行動の理論 (7)	損益分岐点と操業停止点、短期供給曲線	
	19	企業行動の理論 (8)	問題演習	
	20	完全競争市場の効率性(1)	完全競争市場の条件、余剰分析	
	21	完全競争市場の効率性(2)	厚生損失	
	22	完全競争市場の効率性(3)	パレート最適	⑤演習問題の実施記録をとる
	23	完全競争市場の効率性(4)	問題演習	
	24	不完全競争 (1)	独占企業の価格決定	
	25	不完全競争 (2)	独占均衡、独占の弊害	
	26	不完全競争 (3)	問題演習	
	27	市場の失敗 (1)	外部性	
	28	市場の失敗 (2)	公共財、情報の非対称性	
	29	市場の失敗 (3)	問題演習	
	30	まとめ	１年間の総復習	

試験について	中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。 但し、再試験の受験は定められた期限内に課題を提出した者のみに認める。
評価方法	定期試験の成績を60%、課題の成績を40%として総合的に評価する。
教科書	新版ミクロ経済学、嶋村紘輝、成文堂
参考書	例題で学ぶ　初歩からの経済学、白砂堤津耶・森脇祥太、日本評論社 キーワード入門経済学、河村　朗・高屋定美・阿部公一、嵯峨野書院
関連科目	人文・社会科学概論Ａ、近代経済史、産業経済史、経済学演習Ⅰ、経済学演習Ⅱ
履修上の注意	経済学の学習には、数学に関する基本的知識と計算能力およびグラフの作成・読解力が不可欠となるので、各自復習しておくこと。また、新聞等で常に最新の経済動向を把握しておくこと。課題は、指定された様式に則って、期限厳守で提出すること。正当な理由もなく遅刻･欠課した者には厳しく対処する。